ZOJIRUSHI

家庭用

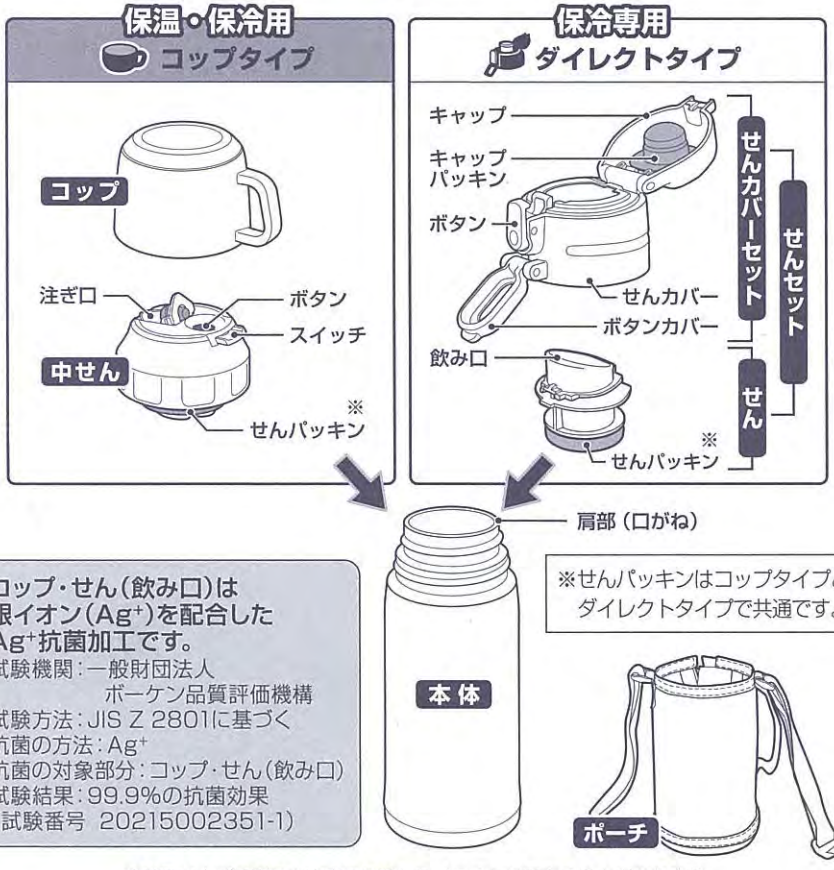
取扱説明書

ステンレスボトル
SP-JA 型

ご使用前に必ずお読みください。
お読みになったあとは大切に保管してください。

●ご使用ごとに各部品が取りつけられていることをご確認ください。

各部のなまえ



コップ・せん（飲み口）は
銀イオン（Ag^+）を配合した
Ag^+抗菌加工です。
試験機関：一般財団法人
ボーケン品質評価機構
試験方法：JIS Z 2801に基づく
抗菌の方法：Ag^+
抗菌の対象部分：コップ・せん（飲み口）
試験結果：99.9%の抗菌効果
（試験番号 20215002351-1）

※せんパッキンはコップタイプとダイレクトタイプで共通です。

●お買い上げの製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。

必ずお守りください

●ご使用になるときは、やけどや飲み物の　変質・変色や製品の故障・汚れを防ぐために、次のことは必ずお守りください。

保護者の目の届かないところで使用させない。また、乳幼児のいたずらには十分注意する
やけどやけがなど危険です。

熱い飲み物を入れた場合は、直接飲まないで、必ずコップを使用する。また、ダイレクトタイプは使用しない
やけどなど危険です。

飲み物はその日のうちに飲みきる
腐敗の原因になります。また長時間放置した場合は腐敗によりガスが発生し、本体内の圧力が上がり、中せん・せんセットなどをはずすときに飛んだり、飲み物がふき出たり、中せん・コップ・せんセットなどが破損して飛散することがあり危険です。

電子レンジでの加熱はしない
火花が飛び危険です。
また、変形や変色の原因になります。

ストーブやコンロなど火のそばに近づけない
変形や変色の原因になります。

本体外側の底に貼っている底シールは絶対にはがさない
さびや穴あきなど故障の原因になります。

直火（ガス台など）や電気ヒーター・IH調理器・IHクッキングヒーターなどの上に載せない
火災・故障の原因になります。

保温性能が低下した製品は使用しない
熱い飲み物を入れると本体外側が熱くなり、やけどの恐れがあります。

缶やビンなどを本体に入れない
変形し、故障の原因になります。

ポーチのベルトを持って振り回さない
けがや破損など危険です。

ポーチのベルトを首に掛けたまま遊ばない。また、周囲の物に引っ掛けないよう注意する
窒息の恐れがあります。

飲み物の保温・保冷以外に使用しない
飲み物を入れての保温や保冷を目的としたものです。

自動車走行中は飲まない
やけどをしたり、車内や衣服を汚す原因になります。
また運転者の場合、運転への注意が散漫となり、非常に危険です。

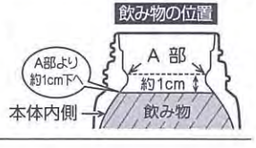
使用後はすぐに本体内側をよく洗う
さびや穴あきなどの故障や腐敗の原因になります。

改造や分解修理はしない
故障や事故の原因になります。

本体内側のフッ素樹脂コーティングを傷つけない
傷がつくと、さびや穴あきなど故障の原因になります。

ポーチを使用するときは、ベルトが素肌に直接あたらないようにする
肌にこすれてけがの恐れがあります。

飲み物の量は図の位置までにする
入れすぎますと中せんのボタンがかたくなったり、中せん・せんセットを取りつける時、飲み物があふれる原因になります。
また、中せん・せんセット内に飲み物が入り、あとから漏れ出すことがあります。入れすぎた場合は少量の飲み物を捨ててから、元通り中せん・せんセットを取りつけてください。



お手入れの際は次のことを守る
●シンナーやベンジン・金属たわし・研磨剤入りたわし・みがき粉・クレンザー・メラミンスポンジなどは、使用しない　製品を損傷する原因になります。
●塩素系漂白剤は使用しない　さびや穴あき（本体内側）など故障の原因になります。
●煮沸はしない。また食器洗い乾燥機や食器乾燥器などは使用しない
傷やさび・変形など故障の原因になります。
●丸洗いできますが、つけ洗い（水中に放置）はしない

SP-JA / B

次の物は絶対に入れない
●ドライアイス・炭酸飲料など
本体内の圧力が上がり、中せん・せんセットが開かなかったり、圧力によっては飲み物がふき出たり、中せん・コップ・せんセットなどが破損して飛散することがあり危険です。
●みそ汁・スープ・昆布茶など、塩分を多く含んだもの
本体内側は、ステンレスにフッ素樹脂コーティングを施しておりますが、さびたり、保温・保冷性能が低下する原因になります。
●牛乳・乳飲料・果汁など
成分が腐敗することがあります。そのまま長く放置した場合は腐敗によりガスが発生し、本体内の圧力が上がり、飲み物がふき出たり、中せん・コップ・せんセットなどが破損して飛散することがあり危険です。
●果肉・お茶の葉など
詰まる、漏れるなど故障の原因になります。

熱い飲み物を入れた場合　コップタイプ
●飲み物を注ぐときはゆっくり傾ける
飲み物が勢いよく出てやけどの恐れがあります。
●本体を振らない　やけどやけがなど危険です。
●飲む際にやけどの恐れがあるので注意する
断熱効果により、熱い飲み物を入れても本体外側は熱くなりません。
●本体内の圧力が上がり、中せんをはずす際にかたくなることがあります。そのときはボタンを押したあとに、中せんをはずしてください。
無理に中せんをはずすと中せんが飛んで、やけどやけがの恐れがあります。

傾けた状態や、顔などの近くでボタンを押さない　コップタイプ
飲み物が急に出たり、飛散するなど、やけどの恐れがあります。

中せんは確実に取りつけて使用する。また使用後はスイッチを押し、注ぎ口を閉める　コップタイプ
漏れてやけどなどの恐れがあります。

中せん・せんパッキンは必ずつけた状態で使用する　コップタイプ
漏れてやけどなどの恐れがあります。また汚れの原因になります。

コップ・中せんを持って運ばない　落とすと危険です。　コップタイプ

せんカバー・キャップ・ボタンカバーを持って運んだり、振り回さない　ダイレクトタイプ
指をはさんだり、落としたりしてけがの恐れがあります。
また、キャップ・ボタンカバーの破損の原因になります。

飲み口をかまない　ダイレクトタイプ
変形して漏れる恐れがあります。

せんセットは確実に取りつけて使用する。また使用後はキャップ・ボタンカバーを閉じる　ダイレクトタイプ
漏れて衣服やバッグなどを汚す原因になります。

せん・キャップパッキン・せんパッキンは必ずつけた状態で使用する　ダイレクトタイプ
漏れて車内や衣服を汚す原因になります。

ご注意とお願い

熱いやかんを肩部（口がね）に触れさせない
転倒してやけどなどの危険があります。
また傷や変形の原因になります。

落とす・ぶつけるなど強い衝撃を与えない
樹脂部分が破損したり、ステンレス表面がへこみ、保温・保冷性能が低下することがあります。

本体の絵柄をつめや固いものでひっかいたり、こすったりしない
はがれる原因になります。

製品専用の部品以外は取りつけない
漏れや故障の原因になります。

氷が大きくて入らない場合は、あらかじめ小さく砕いてから入れる
無理やり押し込んだり、たたいたりすると、変形し、故障の原因になります。

使用後は必ず中せん・キャップ・キャップパッキン・せんカバー・せん・せんパッキンをきれいに洗う
腐敗・カビ発生・におい移り・変色の原因になります。また飲み物が漏れる原因になります。

ポーチを使用しないときは、通気性の良い場所に保管する
湿度の高い状態になるとシワが出る場合があります。

ポーチやベルトに破れ、ほつれ等が発生した場合は使用しないでください。
破れ、ほつれの箇所によっては、製品（本体）が落下し危険です。

保温時に、コップの内面に水滴がつく（結露する）場合がありますので、ご注意ください。　コップタイプ

熱いお茶を長時間保温すると、お茶の色が変わります。お出かけの時は、ティーバッグなどのご利用をおすすめします。　コップタイプ

ティーバッグを入れたままで中せんを取りつけない　コップタイプ
ティーバッグが膨らみ、飲み物が漏れたり、飛び散りの原因になります。

洗浄した中せんに、水が残らないよう数回振り、十分ふき取る　コップタイプ
残ったしずくが漏れてくることがあります。

湿度が高いときにせんセットに水滴がつく場合があります。バッグなどには縦置きにして入れてください。　ダイレクトタイプ

氷を入れた場合など本体内の圧力が下がり、キャップを開けたときに、キャップパッキンがはずれる場合があります。その場合はつけ直してください。　ダイレクトタイプ

使い方 ●ご使用前にコップ・中せん・本体内側・本体外側を、お手入れ方法に　従って十分に洗ってください。

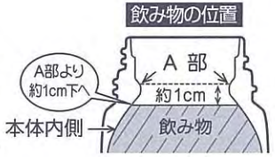
中せんは下記のような状態ではつけはずししない
●ポーチをつけた状態

1 本体からコップ・中せんをはずす

コップ・中せんを矢印の方向に回し、はずします。

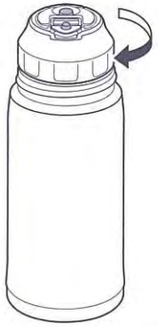
2 飲み物を入れ、中せんを取りつける

point
あらかじめ本体内側に少量の熱湯(冷水)を入れ、1分程度予熱(予冷)すると保温(保冷)により効果的です。



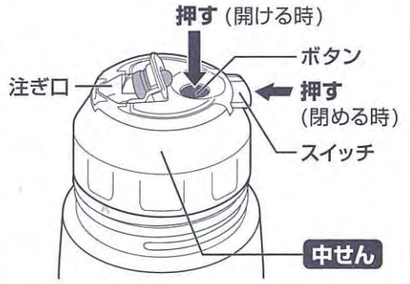
中せんを矢印の方向に回し確実に取りつけます。

●せんパッキンが正しく取りつけられていることを確認の上、ご使用ください。
(飲み物が漏れる原因になります。
P.7「**せんパッキンの取りつけ方**」参照)
●中せんは本体を立てた状態で、確実に取りつけてください。
●注ぎ口は確実に閉めてください。
●本体を逆さにして漏れのないことを確認してください。
漏れた場合は P.15「**Q&A**」参照



3 飲み物を注ぐ

①飲み物を注ぐ場合は、本体を立てた状態で中せんのボタンを矢印(⬇)の方向へ押し、注ぎ口を開ける
②本体を傾け、注ぎ口より飲み物を注ぐ
③注いだあとは、本体を立てた状態でスイッチを矢印(⬅)の方向へ押して注ぎ口を閉める



●熱い飲み物を注ぐときはゆっくりと傾けてください。
(飲み物が勢いよく出てやけどの恐れがあります。)

飲み物を注いだあと、本体を傾けた状態で、中せんの注ぎ口を閉めると中せん内に飲み物が残り、あとから漏れ出して衣類やバッグなどが汚れる原因になります。
また、コップの内側にも飲み物の「しずく」が残ることがあります。飲み物の漏れによる汚れを防ぐため、次のことをお守りください。

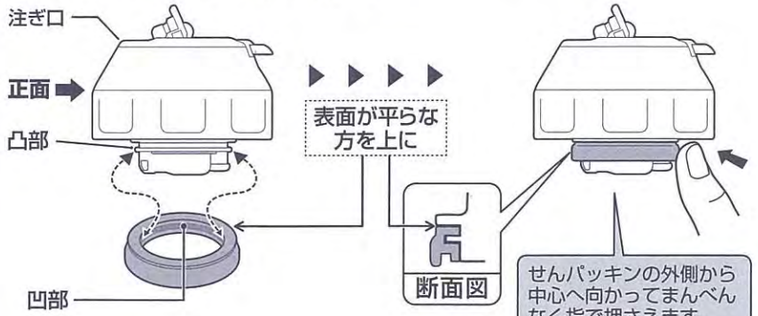
⬇

●飲み物を注いだあとは、本体を立てた状態で2〜3秒たってから、注ぎ口を閉めてください。
●コップの内側に残った「しずく」は、振り切ったあと、よくふいてください。
●バッグなどに入れるときは、万一の漏れを防ぐために本体を縦に置いてください。

せんパッキンの取りつけ方

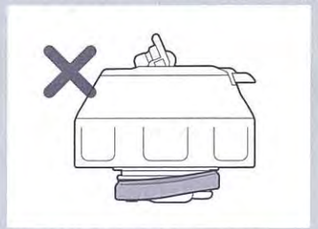
●中せんは分解しないでください。
●せんパッキンは、正しく取りつけてください。
(作動不良・飲み物が漏れる原因になります。)

①中せんの正面から先に、中せんの凸部とせんパッキンの凹部をあわせ、せんパッキンを正しい位置に取りつける
②周囲を押し込むようにして取りつける



間違った取りつけ方

●正しく取りつけないと飲み物が漏れる原因になります。

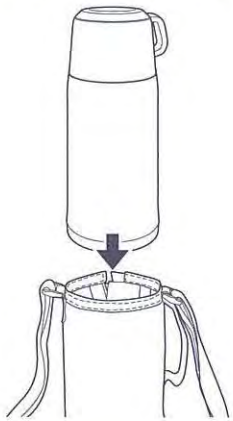


正しい位置に取りつけてください。

上下を間違わないようご注意ください。

ポーチの装着方法

1 本体をポーチに入れる



2 ファスナーを上げる

●ファスナーは確実に最後まで閉めてください。

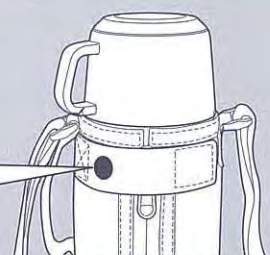
3 ファスナーカバーをしっかり閉める

●面ファスナーは確実に閉めて使用してください。

コップを開閉するときは

point

ファスナーカバーの●箇所を押さえてにぎると、本体が滑りにくくなり、コップの開閉がスムーズになります。

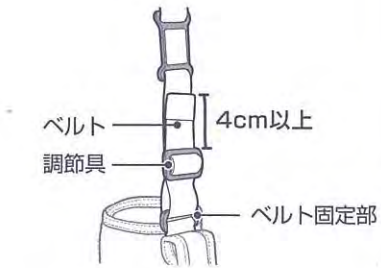


ポーチのベルトについて

●調節具には表裏があります。
はずした場合には、調節具が下図の表向きになるように取りつけてください。

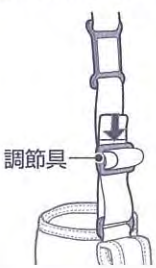
●調節具は、ベルトを本体からはずした状態で引っ張ると簡単にはずれます。なくさないように注意してください。

●ベルトは調節具から4cm以上出してください。短すぎると調節具からベルトがはずれ、本体が落下する原因になります。



■はずし方

①ベルトを矢印の方向に押し出し、調節具からはずす



②ベルトをベルト固定部からはずす

③ベルトを矢印の方向に押し出し、調節具をはずす

④ネームプレートをはずす

●取りつけ方は、はずし方の逆手順で行ってください。

使い方

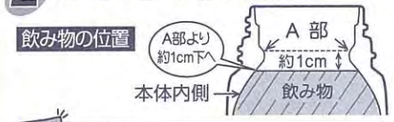
●ご使用前にせんセット・本体内側・本体外側を、お手入れ方法に従って十分に洗ってください。

せんセットは、下記のような状態ではつけはずししない
●ポーチをつけた状態 ●キャップやボタンカバーが開いた状態 ●ボタンカバーを持ったままの状態

1 本体からせんセットをはずす

せんセットを矢印の方向に回し、はずします。

2 冷たい飲み物を入れる



point あらかじめ本体に少量の冷水を入れ、1分程度予冷するとより効果的です。

3 せんセットを取りつける

キャップとボタンカバーを閉めた状態で、せんセットを矢印の方向に回し、確実に取りつけます。

●キャップパッキン・せんパッキンが正しく取りつけられていることを確認の上、ご使用ください。
(飲み物が漏れる原因になります。P.12「**せんセットの組立方法**」参照)
●せんセットは本体を立てた状態で、確実に取りつけてください。
●本体を逆さにして漏れのないことを確認してください。
漏れた場合はP.15「**Q&A**」参照

4 ボタンカバーを開ける

本体を立てた状態で、ボタンカバーを矢印の方向に開ける

5 キャップを開けて飲み物を飲む

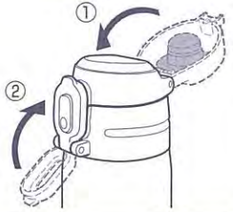
ボタンを押して、指を離すとキャップが開きます。

飲み物を飲む
(本体を勢いよく傾けない)

使い方 つづき

6 飲み終わったら、キャップを閉める

①本体を立てた状態で、キャップをカチッと音がするまで確実に閉める
②ボタンカバーをカチッと音がするまで確実に閉める



●飲み物を飲んだあとは、本体を立てた状態でキャップを閉めてください。

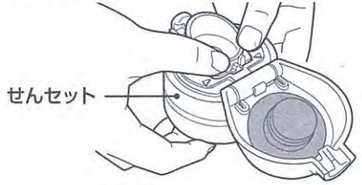
せんセットの分解方法

●組立方法はP.12参照

1 せんセットを本体からはずす

2 せんをはずす

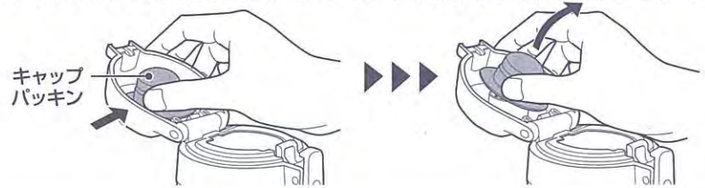
キャップを開けた状態で、図のようにせんセットを持ち、飲み口のうしろ側を押して、せんをはずします。



3 せんパッキンを取りはずす

4 キャップパッキンを取りはずす

キャップパッキンの先を指で横に押し、矢印の方向に動かしてはずします。



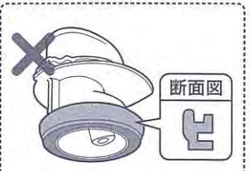
せんセットの組立方法

●分解方法はP.11参照

●せんカバーセット・キャップパッキン・せん・せんパッキンは、正しく取りつけてください。(作動不良・飲み物が漏れる原因になります。)

1 せんパッキンを取りつける

せんパッキンの凹部とせんの凸部を合わせ、周囲から押し込むようにして取りつけます。

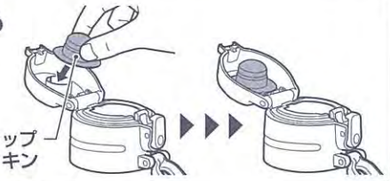


上下を間違わないようにご注意ください。

2 キャップパッキンを取りつける

キャップパッキンをキャップの奥まで押し込み取りつけます。

●キャップパッキンは必ず取りつけて使用してください。



3 せんを取りつける

せんカバーセットとせんの▽印を合わせ、せんを下から押しつけ、奥まで確実に取りつけます。

お手入れ

●においや汚れの付着、カビ発生を防ぎ、いつまでも清潔にご使用　いただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

●必ず分解してからお手入れをしてください。

本体外側 コップ せんセット 中せん	①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗う ②すすぎ洗いのあと、数回振り、水気をふいてよく乾燥させる ●中せんはせんパッキンをはずしてから洗ってください。 ●せんセットは、キャップパッキン・せんパッキンをはずしてから洗ってください。 ●せんセットは分解した状態で洗浄、乾燥させてください。 ●洗いにくい部分は市販の小型ブラシなどで洗ってください。
本体内側	①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を、柄(え)のついた柔らかいスポンジブラシなどに含ませて洗う ②すすぎ洗いのあと、水気をふいて乾燥させる ●常にお手入れをしていただきますと、においの付着を防ぎ清潔に使用していただけます。
ポーチ	ネットに入れ洗濯機の手洗いコースまたはドライコースで洗い、日陰でよく乾燥させる ●手洗いをする場合は、水または30℃以下のぬるま湯で軽く手洗いして、十分乾燥させてください。 ●洗濯乾燥機では乾燥させないでください。 ●エタノールやアルコールを含む洗剤は使用しないでください。
ベルト	柔らかい布をぬるま湯に浸し、固く絞ってからふく ●ネームプレートをはずしてからふいてください。 ネームプレートのシールがはがれる原因になります。

お手入れ時の注意

●煮沸はしないでください。また食器洗い乾燥機や食器乾燥器などは使用しないでください。
●本体外側は、漂白剤を使用しないでください。
本体の塗装、印刷、シールがはがれる原因になります。

●シンナーやベンジン・金属たわし・研磨剤入りたわし・みがき粉・クレンザー・メラミンスポンジなどは、使用しないでください。
●塩素系漂白剤は使用しないでください。
●丸洗いできますが、つけ洗い(水中に放置)はしないでください。
●本体を丸洗いしたあとは、必ず水分をふき取るようにしてください。
水滴のあとやさびが発生する原因になります。
●長時間ご使用にならない場合は、ぬるま湯か水で十分洗い、よく乾燥させて高温・多湿を避け保管してください。
製品を損傷する原因になります。

赤さび状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内側に赤さび状の斑点が出たり水アカが付着することがあります。このような場合は、食酢を約10%加えた湯を入れ、中せん・せんセットを取りつけずに30分～1時間置いたあと、本体内側をよく洗ってください。(P.13、14「お手入れ」参照)

茶しぶなどのお手入れ

本体内側や中せん・せんセットにこびりついた茶しぶなどの汚れには「象印ステンレスボトル用洗浄剤 ピカボトル 」をご利用ください。
(別売品)(P.16参照)
●ピカボトルを使用する場合は、中せん・せんセットを本体からはずしてください。

Q&A

症　状	タイプ	原　因	処　置
中せんやせんセットから飲み物が漏れる	コップ	中せん・せんパッキンが正しく、しっかり取りつけられていますか。	せんパッキンの取りつけ位置や方向・浮きがないことを確認してください。(P.7「せんパッキンの取りつけ方」参照)
		中せん・せんパッキンが汚れていませんか。	お手入れ方法を参考にし、お手入れしてください。(P.13、14「お手入れ」参照)
	ダイレクト	キャップパッキン・せんパッキンが正しく、しっかり取りつけられていますか。	キャップパッキン・せんパッキンの取りつけ位置や方向・浮きがないことを確認してください。(P.12「せんセットの組立方法」参照)
		キャップパッキン・せんパッキンが汚れていませんか。	お手入れ方法を参考にし、お手入れしてください。(P.13、14「お手入れ」参照)
	共通	飲み物を入れすぎていませんか。	少量の飲み物を捨て、正しい量にしてください。(P.2 飲み物の位置 参照)
飲み物(本体内側・中せん・せんセット)がにおう	共通	飲み物を長時間入れたままにしたり、本体内側・中せん・せんセットやパッキン類に茶しぶなどの汚れが付着していませんか。	お手入れ方法を参考にし、お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合はピカボトルをご利用ください。(P.13、14「お手入れ」参照)
保温(保冷)が効かない	コップ	十分に熱い(冷たい)飲み物を入れていますか。	十分に熱い(冷たい)飲み物を正しい位置まで入れてください。予熱(予冷)するとより効果的です。(P.5「2飲み物を入れ、中せんを取りつける」参照)
保冷が効かない	ダイレクト	十分に冷たい飲み物を入れていますか。	十分に冷たい飲み物を正しい位置まで入れてください。予冷するとより効果的です。(P.10「2 冷たい飲み物を入れる」参照)
中せんのボタンを押したときに「プシュッ」と蒸気が出た	コップ	熱い飲み物を入れたとき、内部の空気が温められて膨張し、内圧が上がるために起こる現象です。熱い飲み物を入れたあとは、注ぎ口を開けたまま中せんを取りつけ、しばらく(約20秒)おいてから注ぎ口を閉めてください。	
製品を振ると「シャカシャカ」という音がする	共通	保温/保冷効果を高めるために、本体内部に入れている銅箔(アルミ箔)がこすれて出る音です。異常ではありません。	

部品の交換・購入について

●損傷した場合は、新しい部品と交換(有料)してください。
●お買い求めの際には、製品の品番をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。
(ホームページでのご購入は下記のお客様ご相談窓口参照)

部品名(P.1「各部のなまえ」参照)		部品番号
コップタイプ		
中せん(せんパッキンつき)		S81-6B
コップ		BB656014L-△△
ダイレクトタイプ		
せんカバーセット(キャップパッキンつき)		BB656811L-△△
せん(せんパッキンつき)		S80-△△
キャップパッキン		BB656016M-00
共通		
せんパッキン		BB640025M-00
ポーチ	06サイズ	BB656813N-△△
	08サイズ	BB656814N-△△
	10サイズ	BB656815N-△△
ステンレスボトル用洗浄剤ピカボトル(10g×4包入り)		SB-ZA01

△△表示は部品色柄番号です。お求めの際は製品の色柄までご指定願います。
(底面シールに表示)
<表示例>
SP-JA06-AZ ←色柄

●中せん・せんカバーセット・せん・キャップパッキン・せんパッキンは消耗品です。1年を目安にご確認ください。
●せんなどの樹脂は食品衛生上安全な材料を使用していますが、ザラザラしてきたり、損傷してきた場合は新しい部品に交換(有料)してください。

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品のご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター　フリーダイヤル 0120-345135
携帯・PHS OK　※携帯・PHSからもご利用になれます。

受付時間　9:00～17:00　月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

●一部のIP電話など、フリーダイヤルがご利用いただけない電話でのお問い合わせ
……TEL (06)6356-2451(有料)
●FAXでのお問い合わせ……FAX (06)6356-6143(有料)
製品の「品番・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・FAX番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

〒530-0043　大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承願います。

■ホームページのご案内

部品・消耗品・別売品のご購入専用ページ　http://www.zojirushi-de-shopping.com/

象印マホービン株式会社